買い物弱者対策モデル実証事業　結果概要

【事業１：買物代行サービス】

個別事業名	買物代行・ういず
事業者名	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブういず
実施拠点	柏市松葉町２－１２－３ 特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブういず本部
実施対象地域	柏市松葉田中地区・松が崎地区
事業の概要	都市近郊のベッドタウンとして３０年前に開発された住宅街において、以下の買物代行サービスを行った。 ・対象地区に居住する人を対象に、買物代行の利用希望者を募って会員登録をしていただく。年会費 1000 円。 ・地域の小売商店と連携して、購入品目をリストアップしたチラシを作り広く地域に配布する。会員には、個別に注文表・FAX 用紙等を届ける。 ・会員はリストの中から希望する商品を選び、電話または FAX で注文する。注文の受け付けは、お届日の午前中まで。 ・お届けは週 3 回（原則月・火・木)。午後 2 時ごろから 6 時まで。係が買物をして、車で配達する。買物代金は、立替。 ・配達料金は 1 回 300 円。買物代金と引き換えに品物を渡す。
成果の検証 （専門家の評価）	今回の事業モデルは、買物代行単体の事業ではビジネスとして成立しない。他地域、他の事業体でも同様の結論である。 【主な課題等】 ・利用が伸びても会費収入・手数料収入だけでは人件費等の経費を賄えない。当業務は非効率性を伴うものであり、利用者からみた妥当な料金設定の中で採算ベースに乗せるのは、非常に困難である。 ・ビジネスとしてではなく社会貢献事業として、ＮＰＯなどがボランティア的に行っていくことや、地域のボランティアスタッフが関わることなどにより人件費を大幅に抑制できれば、実施の可能性が出てくる。
委託事業者の 委託事業終了後 の取組方針	・当ＮＰＯ法人のスタッフがボランティア的に事業を行うことで、買物代行サービスを継続する。 ・加えて、生活支援サービス、生協と協力した移動販売も行う。 ・事業拠点を１か所→２か所に増やす。